

川崎東照宮絵図

行田市郷土博物館所有

東照宮は徳川家康を神様として祭った神社です。家康は元和2年（1616）4月17日に駿府城で死去し、久能山に葬られた後、翌年には日光に改葬され、東照大権現という神様として祭られました。以後、昭和期までに全国で550以上の東照宮が勧請されたといわれています。その中で大名として、最初に東照宮を建立したのが忍藩主松平家の初代松平忠明です。

徳川家康の孫である忠明は、大坂藩主だった元和3年に大坂の天満川崎（現在の大阪市北区天満1丁目辺り）に東照宮を建立しました。家康の木造が祭られ、境内には別当寺として九昌院（のちに建国寺と改称）が置かれました。

写真の絵図面は江戸時代後期に作成された川崎東照宮と建国寺の平面図です。絵図の上半分の右側が東照宮の社殿で、その左側にあるのが別当寺の建国寺です。

川崎東照宮は江戸時代を通じて松平家と深いつながりがありました。神事や藩主の代替わりの際には代参を派遣し、日常の維持管理や火災による社殿の再建費用なども負担してきました。隣接して大坂蔵屋敷も設置されました。境内は普段は固く門が閉ざされ、庶民は立ち入



川崎東照宮絵図

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

ることができませんでしたが、4月17日の家康の命日には開放され、大変なにぎわいを見せました。

慶応3年（1867）12月、徳川慶喜の命令により軍勢を率いて上洛した忍藩主松平忠誠は建国寺に本陣を構えますが、鳥羽伏見の戦いで幕府軍が敗れた後に江戸へ戻りました。このとき、戦火を避けて建国寺にあった宝物の一部が忍に運ばれたと伝えられています。そして、明治6年（1873）に川崎東照宮は廃社となりました。現在、跡地は市立滝川小学校と造幣局になっており、小学校の門の横には碑が建っています。大阪における忍藩ゆかりの地ですので、機会があったら訪れてみるのもよいかもしれません。

NPO法人 けい あい 恵 愛

地域で生活する障がい者に対し、自立生活や社会参加の促進と支援を行い、一生涯、安心して安全に、はつらつと過ごせる生活を提供しているのがNPO法人恵愛です。

同法人は平成26年に設立され、介助派遣事業や生活ホーム事業などを展開しています。利用者のニーズを第一に考え、一日のスケジュールを利用者の目線に立って計画することで、ホームヘルプサービスを提供する時間を調整しています。これにより、それまで鑑賞や観覧のかなわなかった夜のコンサートや遊園地のパレードなども楽しめるようになり、大変喜ばれているそうです。

また、弁当を作るサービスが大人気とのことで、ヘルパーが工夫を凝らしたバラエティー豊かな弁当は、昼休みにふたを開けるまでその中身が分からないため、利用者はいつも昼食を心待ちにしており、中には毎回、写真に収める方もいるそうです。

今後は、6月に開所した生活介護事業所「ルピナス」を中心に、さらに笑顔と喜びにあふれる活動を目指していくとのことで、利用者を慈しみ愛する「恵愛」の心は、いっそう高まりを見せていくことでしょう。

【理事長】相沢 芳子 【電話番号】090-8015-5433

つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～19



カラオケを活用した機能訓練の様子～「ルピナス」内で～

今月の表紙

6月14日、佐間公民館で、はつらつ教室が行われました。はつらつ教室は、介護予防と健康づくりを目的に各公民館などで開催されている講座です。この日は、「げんき100倍!カーレット」と題し、35人の参加者が氷上のカーリングを卓上でできるようにアレンジされたカーレットを実践。参加者らは、ストーンを投げるときに力加減に苦戦しながら、手に汗握る攻防に一喜一憂していました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジェスト版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています